

# BACCALAURÉAT GÉNÉRAL

**SESSION 2013**

**JAPONAIS**

---

**LANGUE VIVANTE 1**

Série **L** – Durée de l'épreuve : 3 heures – coefficient : 4

Séries **ES-S** – Durée de l'épreuve : 3 heures – coefficient : 3

---

*L'usage des calculatrices électroniques et du dictionnaire est interdit.*

Dès que ce sujet vous est remis, assurez-vous qu'il est complet.  
Ce sujet comporte 5 pages numérotées de 1/5 à 5/5.

## **Répartition des points**

Compréhension de l'écrit	10 points
Expression écrite	10 points

## テキスト 1

五月の中頃、突然校長の石守森之進が定年で退職するという噂が村に広がった。そんな噂を耳にしてから間もなく、そのことは事実となって現れた。

朝礼の時、石守校長は、自分がもうすぐ教職<sup>1</sup>を退き、あとに静岡県で一番評判のいい名校長がやって来るといふようなことを全校生徒に発表した。いつもと少しも変わらず、苦虫をつぶしたような表情<sup>ひょうじょう</sup>で、生徒全体を、にらみつけるようにして言った。校長がやめるといふようなことは、生徒たちには考えられないことであつた。校長といふものは石守校長でなければならず、それ以外の何人<sup>なにびと</sup>であってもならなかつた。だから、石守校長が自分の退職を言ひわたしたとき、整列<sup>せいれつ</sup>していた生徒たちの間からは、低いどよめき<sup>2</sup>のようなものが起こつた。世の中で一番怖ろしい人物が、この学校からいなくなつてしまふといふが、そんなことがあつていいだらうかといふ驚き<sup>おどろ</sup>のどよめきであつた。

洪作は他の生徒たちと多少違つた感慨<sup>3</sup>をもつて、伯父の校長の話<sup>おじ</sup>を聞いた。洪作は伯父が怒つていふように見えた。何か、不当な弾圧<sup>だんあつ</sup>でも受けて、伯父は無理やり教職を去らされて行くのではないか。……

稲原校長は太つた背の低い人物であつたが、にこにこしながら優しい言葉<sup>ことば</sup>で話した。生徒達のことを「みなさん」と言つたので、生徒たちはすっかり戸惑い<sup>とまど</sup>、そのことが無性におかしく感じられて来て笑い声を口から出した。石守校長はいかなる時でも、「お前ら」と呼んだので、生徒たちはそれに慣れていふた。

その日、全校生徒が整列<sup>せいれつ</sup>している前を石守校長は校庭を横切つて学校から出て行つた。長身・細身の石守森之進<sup>いしまもり</sup>はいつもと少しも変わらぬ、少し前のめりの独特の歩き方で、自分が今生徒達から見送られていふことなどいささかも意<sup>がい</sup>に介<sup>かい</sup>して<sup>5</sup>いな

<sup>1</sup>教職 = 教師の職業

<sup>2</sup>どよめき brouhaha

<sup>3</sup>感慨 émotion

<sup>4</sup>弾圧 pression

<sup>5</sup>意に介する se soucier de

いと言った<sup>おもも</sup>面持ちで、前だけを見て歩いて行った。女生徒たちの間から低い泣き声  
が起こった。泣き声は何ヵ所からも起こった。

いのうえやすし  
井上靖 「しろばんば」より

テキスト2：

25 <sup>はいけい</sup>  
拝啓

風かおる青葉の<sup>きせつ</sup>季節となりました。

先生には、ますますご<sup>けんしょう</sup>健勝のこととお<sup>よろこ</sup>喜び<sup>もう</sup>申し上げます。

さて、わたしもこの四月で中学二年生となりました。友達もたくさんできて、<sup>じゅうじつ</sup>充実  
した生活を送っています。勉強のほうも、なんとかがんばっています。

30 部活動は、バスケット部ですが、先日、練習中に足をくじいて<sup>6</sup>しまい、大事な試合  
に出られませんでした。とても<sup>ざんねん</sup>残念でしたが、先生に教えてもらった「明日を信じ  
る」という<sup>ことば</sup>言葉を思い出して、元気を取り戻しました。近いうちに、先生にお目  
にかかりたいと思います。先生もお体に気をつけて、元気でお過ごしください。

35

<sup>けいぐ</sup>  
敬具

<sup>あいこ</sup>  
原田愛子

中村 <sup>けんいち</sup>  
健一先生

中学国語 「伝え合う<sup>ことば</sup>言葉 2」 より

---

<sup>6</sup>足をくじく se fouler

## TRAVAIL À FAIRE PAR LES CANDIDATS DES SERIES : L - ES et S

### COMPRÉHENSION

- 1) Les candidats traiteront le sujet sur la copie qui leur sera fournie en faisant apparaître la numérotation.
- 2) Ils composeront des phrases complètes sauf indication contraire.
- 3) Les citations seront limitées aux éléments pertinents et suivies de la mention de la ligne.

#### Répondez aux questions suivantes en japonais :

1. 2つのテキストの内容で、共通していることは、どんなことですか。
2. テキスト 1 は小説の一部です。この場面では、どんな出来事に対する、だれの<sup>はんのう</sup>反応が書かれていますか。
3. テキスト 1 「苦虫をつぶしたような表情」 (5 行目) とは、どんな表情のことだと思いますか。
4. テキスト 1 では、2 人の校長が、全く違ったタイプ<sup>ちが</sup>の人物として描かれています。それぞれ、どのような人物ですか。
5. テキスト 1 「<sup>こうさく</sup>洪作は他の生徒たちと多少<sup>ちが</sup>違った<sup>かんがい</sup>感慨をもって」 (12 行目) とありますが、なぜ洪作はこの校長に他の生徒たちとは多少<sup>ちが</sup>違った<sup>かんがい</sup>感慨をもっていたと思いますか。
6. テキスト 1 「生徒たちはすっかり<sup>とまど</sup>戸惑い」 (16 行目) とありますが、それはどうしてですか。
7. テキスト 1 「校長がやめるといようなことは・・・」 (6 行目) から、「・・・低いどよめきのようなものが起こった」 (9 行目) をフランス語<sup>やく</sup>に訳してください。
8. テキスト 1 で、生徒たちが感じた<sup>かんじょう</sup>感情は次のうちのどれですか。正しいと思うものを2つ選んでください。  
a. <sup>よろこ</sup>喜び b. <sup>かな</sup>悲しみ c. <sup>おこ</sup>怒り d. <sup>まんぞく</sup>満足 e. <sup>おどろ</sup>驚き
9. テキスト 2 は手紙です。手紙の内容はどんなことですか。<sup>かんたん</sup>簡単に説明してください。(réponse en 50 signes minimum)
10. テキスト 2 の手紙は、何月頃<sup>てがみ</sup>の手紙だと思いますか。それは文中のどこからわかりますか。

### EXPRESSION ÉCRITE

Traitez les deux sujets suivants. Vous indiquerez distinctement sur votre copie le numéro correspondant à chaque sujet :

1. 「X先生」は、あなたの<sup>むかし</sup>昔の先生です。しばらく会っていません。X先生に手紙を書いてください。手紙の中で、先生との思い出や今のあなたの生活のことを書いてください。(200 signes)

2. テキスト2で、筆者は「明日を信じる」という言葉<sup>ことば</sup>についてふれています。あなたは、フランス語でどんな言葉<sup>ことば</sup>やことわざが好きですか。日本語でどういう意味ですか。どんなときに、この言葉<sup>ことば</sup>があなたに役立ちます<sup>やくだ</sup>（ました）か。具体的な例<sup>あ</sup>を挙げてください。（200 signes）